



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops



倉卓也会長主題：『あしたのために』～一步一步を大切に～

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ～世界のワイズが輪になって～
メネット主題 「愛の心」～原点に立ち返って私たちに出来ること～

- 会長：倉卓也
副会長：新山 堅一
加藤 清一
書記：藤田 正康
笠井 俊明
会計：東田 吉末



箴言4:18・20

東田 吉末 ys選

神に従う人の道は輝き出る光進むほどに光は増し、真昼の輝きとなる。...わが子よ、わたしの言葉に耳を傾けよ。わたしの言うことに耳を向けよ。



「TOF例会」

地域奉仕委員長 舞田 智之 ys

みなさんこんにちは今期地域奉仕委員長をさせてもらっています舞田です。今期も早いものであと3カ月。ついこの間役員研修会に参加させて頂きワイズのなんたるかを勉強させて頂いたばかりなのに、なんたるかを分からないまま、もうすぐ次の役員研修会の告知があったりして一年立つのは早いなーと実感している毎日であります。そんな中2月にTOF例会が開催されました。TOF(タイムオブファスト)とは普段皆さんから頂いている例会費のなかに食事の費用も含まれるのですが、皆さんに一食抜いて頂いてその分の費用を飢えや飢餓で苦しむ方々に送金しようという地域奉仕の根幹的な事業です。そういう事業ですからいつもの例会のようにウエスティンでも出来ないし、楽しいアトラクションのような予算のかかる物は出来ないのですが(TOF例会は勉強するための例会でもあります)大塚製菓の橋爪先生が無償でメタボ、サプリメント、熱中症の講義をして下さいました、それどころか自社製品のスポーツ飲料などを持ってきていただきました。クラブでは営業活動を行わないという理念があるんですが、自社のブランドの製品のアピールになるような映像が出てくると「スイマセン」を連発して、とても素朴な人のいい方だなと改めて実感いたしました。

このTOF例会の開催に伴い内容を考えるのが地域奉仕委員会の役割なのですが、人脈もあまりない中で色々な方に相談させて頂き、平間さんから橋爪先生の講義のお誘いを頂き、TOF例会が開催出来ました事を深く感謝しております。始めて委員長の役を頂いて一人では出来ない事を色々な方にサポートして頂き何とか9カ月経ちました。(やっとこさですけどね)委員会じゃべる事もなかった去年とは全然違う一年になりました。そんなまだまだ新米の私からお願いですYサ、地域奉仕の委員会がとても寂しいので皆さん出来るだけ参加して頂けたら助かります。委員会はクラブの運営や事業に自分の意見が反映される唯一の場所だと思います。

人のする事をただ付いて行くだけのような方は、クラブにはいらっしやらないと思います、皆さん自分の思いで会社や事業を立ち上げて成功されている方ばかりだと思うので委員会でもバンバン意見を出して下さいればとてもよい委員会が毎回開催出来ると思っております。生意気な事を言って申し訳ないですが、あと3カ月どんどんいちびって(パクリです)いきたいと思しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

エコ標語

急ぐ時、心静かにアクセル離し、
燃料減りなしお財布やさし、 河原 祥博 作

3月強調月間

EF JWF

個人や家族やクラブなどでの色々なハッピーニュース、ラッキーニュースを記念して、ワイズダム発展のために献金しましょう。



2月報告	第一例会出席		BFポイント		スマイル		ファンド		献 血	
	メンバー数 (広義会員3名含)	36名	現金	0円	2月	7,000円	2月現金	42,500円	2月	0cc
出席メンバー	25名	切手					トスファンド	51,000円		
ゲスト	0名									
メ ネット	0名									
メーキャップ	0名									
出席率	76%	累計	0円	累計	75,300円	収益累計	877,162円	累計	800cc	



毎年恒例の京都部CSチャリティーボウリング大会が2月6日曜日にしょうざんボウルで開催されました。多数の参加があり、ボウリング場は貸し切り状態でした。大会は2ゲームの合計で個人戦、クラブ上位の3人の合計とアトラクションの点数の合計で団体戦が決まります。

今回はトップス最強のメンバーが参加してない方がおおいので、個人戦では上位には食い込めませんでした。何人かは飛び賞をもらってました。アトラクションは倉会長・舞田地域奉仕環境委員長のペアで出場し、一回戦で大敗しました。例年トップスはアトラクションでもいい点数をもらい団体優勝が多かったのですが今回はだめでした。

参加者は、倉会長・河原EMC主査・東田ファミリー・廣田ファミリー・舞田地域奉仕環境委員長とコメント・巴山・わたくし加藤で総勢15名でした。それと船木さんが見学に来てました。



IBC韓国訪問



1月28日から二泊三日の韓国訪問に行かせて頂きました。私自身、あまり海外旅行に行った事がないので初めての韓国は楽しみにしておりました。韓国釜山。関空から1時間半の短い飛行時間で到着する本場に近い国です。

一日目は到着後ホテルに行き夕方から西面クラブの方々に食事に招待して頂きました。韓国は近い国ですし、文化も似ている所はありますが、韓国語のさわりも知らない私はかなりの緊張をしておりましたが、クラブの方の娘さんが日本に留学していて里帰りされておりましたので通訳してもらいなんとか一命を取り留めました。その後カラオケまで連れて行っていただいで楽しく過ごすことができました。

二日目は慶州と言う歴史のある観光地に連れて行って頂きましたが、とにかく寒い！池は凍るし、滝も凍る。韓国の歴史を感じるより寒かった事だけが印象に残りました・・・その後福祉館に移動して奉仕活動をする事になりましたが、内容をまったく聞かされないまま付いていくと一人暮らしのお年寄りにお正月の挨拶回りをする奉仕でした。韓国の高齢者問題は日本と似た所があり、政策が進んでない所もあるようで言葉は分かりませんがお年寄りは嘆いておられました。ただ、お年寄りを大切にしている西面クラブさんの活動に感銘を受けました。

三日目最終日は西面クラブの方々と昼食をご一緒して空港に向かいました。空港まで見送りに来てくださりすぐくお世話になりました。日本に帰って来たら携帯を落とし破損してしまい、飛行機の気圧差で中耳炎を患う事になりましたさんさんではありましたが、また機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。



写真は語る

寺内 陽子 ys



もうすぐ、京都トップスワイズメンズクラブに入会させていただいてから1年が経ちます、寺内陽子です。写真は、京都女子高校3年生の時の体育祭の写真です。この写真のメンバーとおそらく写真を撮ってくれているであろう友達とは、現在でも連絡をとりあっている、大切な友達です。京都駅から東山七条の高校まで毎日片道30分を一緒に歩いた仲間です。恋愛のこと（女子高なので少なかったですが）、進路のことなど本当にたくさんのお話を語り合いながら毎日歩いていました。

高校3年間はいろんな思い出がありますが、今から思うと、この高校に入学したことが、今の私につながっていると思います。女

子高ですので、当たり前ですが、全てのことは女子でやります。生徒会長も応援団長も、また文化祭の大道具にも男手はありません。この環境が強気な性格をさらに強くしてしまったような気がします。また、近畿中からしっかりとした考えを持っている生徒が集まって来ていたため、自分の甘さを痛感しましたし、大学入学後もモラトリアム期間に甘えることなく、将来の自分を考えながら大学生活を過ごすことが出来ました。高校3年間の環境がなければ、司法書士を目指そうとは考えなかったでしょうし、もし、普通に就職していれば、今頃は、結婚をして2人くらい子供がいたような気がします。今の人生も、たくさんの方に支えていただいて、本当に幸せだと思っておりますが、もう一つの人生はどんな人生だったのかなあとふと思うこともあります。

今回、順番が回ってきて、学生時代の写真をおもに探してみたのですが、写真をみると、その時々のお話が思い出されてきました。メンバーの方々に比べると、31年とまだまだ短い人生ですが、今まで本当にたくさんの方に支えられてきたこと、今の自分は今までの人生の積み重ねの結果なのだと思えました。将来の自分のために、今の1日1日を大切に生きていこうと思っております。なぜか、とっても真面目な内容になってしまいました。

千賀 俊男 ys



「お母さん、なんか僕の写真好い？」と聞いたところ「三歳の頃の写真好かった」と出てきたのがこの写真です。満州にいた時の写真ではありませんが、昭和を十分に感じさせる写真です。

いつもちょこちょこ動き回って普通の子供と比べ落ち着きがない子供であったようで、そのことは小学校時代の担任の先生にも言われた記憶があります。病名で言うなら「不安性多動症」、そして京都ではただ単に「イチビリ」と言うことになります。その病気は結局治癒すること無く、いわゆる「病気と共に生きる人生」を選ばざるを得ませんでした。考えてみると、運動が得意で有ったことと「イチビリ」な性格の御蔭で学生時代は楽しく過ごすことが出来ました。社会に出てからは少し落ち着きましたが基本的に変わっていない様に思います。

現在は、社会保険労務士事務所を運営していますので、営業上、この「イチビリ」な性格を顧問先の社長には見せない様にしています。その為「ガス抜き」で、トップスク

ラブに入会し、楽しくお世話になっています。クラブのメンバー皆様にはご迷惑をお掛けしていると思っておりますし、時には「立腹」されていると思っておりますがお許し下さい。

「ああ、知らなかったと思うけれど、君の50年後は今の私だよ。元気に、立派にやっているから安心してね。有難う」

私の好きなひと時。それは山の上から下に見える雲、雲海を見る時です。友人や子どもたちと一緒に、自然に触れつつも時には険しく、長い道のりを楽しく歩きます。そしてその先の山の頂上の見晴らしの良さは勿論素晴らしいものがあります。加えて雲が、自分の下に見えて時にはより感動をします。自然の偉大さをあらためて感じる瞬間でもあります。それは決して、飛行機から見る「雲海」では味わえるものではありません。あくまでも自分の足で、時には人と助けあひながら歩いた後に見ることのできる「雲海」でしか感じることはできません。

この春も、多くの子どもたち、リーダーや専門学校の学生が巣立っていきます。YMCAの活動を通して、自分自身の足で歩いてきた青年が、社会と自分の可能性に期待を膨らませてとびたっていきます。それぞれの道の先には素晴らしい景色が待っていることを願っています。お支えいただきましたことに感謝しますとともに、引き続き、次に繋がります青年たちも、励まし育てていただきますようお願いいたします。

1. 2010年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈ってともに祝いたいと思います。

とき 3月13日(日)
午後2時～5時30分(受付午後1時30分開始)
会場 京都YMCA三条本館1階ロビーとマナホール

2. 新年度プログラム募集

子どもたちのウエルネスプログラムの新年度参加者募集中です。ご参加をお待ちしております。

スイミングスクール・体育活動

お申込み・お問合せ 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ

お申込み・お問合せ 電話075-231-4388

3. 京都YMCA平和のつどい

韓国併合100年に寄せて
その1 日本統治時代の教科書展 (朝鮮半島で使われた日本語の教科書展、内地で使われた教科書の並列展示)

3月14日～3月24日 京都YMCA 1階ロビーにて

その2 日韓平和セミナー

在日の生き方を通して学ぶ日本社会
講師 朴実氏 3月18日(金)午後7時より
京都YMCA マナホール

日韓関係から見る東アジアの平和について(仮題)
- 日韓の青年を交えてのパネルトーク -

講師 同志社大学教授 太田修氏
3月25日(金)午後7時より 京都YMCA マナホール
主催 京都YMCA 平和の集い実行委員会

4. 京都YMCA第8回発達障がい児理解セミナー

日時: 3月5日(土)午後1時30分～午後4時
場所: ひと・まち交流館 京都2階大会議室
講師・講演 「学校現場での支援」 二井弘泰
〔京都府立朱雀高等学校教諭〕 「発達障害の支援はいつまで必要か～“後手の対応”から主体的マネジメントへ」 小谷裕実〔花園大学社会福祉学部臨床心理学科教授、小児科医〕 参加費: 1,500円

5. サバエキャンプ場・リトリートセンター夏期利用案内

自然いっぱい心で安らぐサバエキャンプ場・リトリートセンターでは夏期(7・8月)の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

サバエキャンプ場
30名以上 3月8日(火) 午前10時～
30名未満 3月9日(水) 午前10時～
リトリートセンター

30名以上 3月9日(水) 午前10時～
30名未満 3月9日(水) 午後2時～
リトリートセンター2011年4月～2012年3月まで
(7・8月を除く)のご利用は只今受付中です。

6. ボランティアセミナーのご案内

『認知症』って何「ぼけ」でも安心して暮らせる社会を

認知症と言う病気は、まだまだ正しく理解されることが少なく、身近な方がかかるまで、知る機会がないのが実情ではないでしょうか。認知症って本当はどんな病気なのでしょう? また、介護する人はどんな心構えでいたらよいのでしょうか? まだまだ誤解の多い認知症という病気について、みていきましょう。

日時 3月12日(土)午後6時30分～8時30分
講師 徳廣三木子氏(社団法人 認知症の人と家族の会 京都府支部 副代表)

場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 一人300円

がん患者さんとそのご家族へ

第50回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。
この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 3月19日(土) 午後7時～9時
場所 京都YMCA(三条柳馬場) 参加費 一人300円

全てのプログラムに関するお問合せ・お申し込みは
電話(075)-231-4388 FAX(075)-251-0970
E-Mail kyoto@ymcajapan.org(ボランティアセミナー除く)

スケジュール

3月・4月

3月 9日(水)	通常例会
3月13日(日)	リーダー卒業祝会
3月30日(水)	役員会
4月 2日(土)	一泊次期役員研修会
～3日(日)	
4月13日(水)	通常例会
4月27日(水)	役員会